

桐生西ロータリークラブ週報



Rotary

2022-23年度RIテーマ **ジェニファー E. ジョーンズ**RI会長
イマジンロータリー **IMAGINE ROTARY**

例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市広沢町1-2689 日本料理うおせん
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-47-7061
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-47-7062
 会長 東郷 学 公共イメージ委員長 栗原秀一 クラブ会報・雑誌担当 小林 聡
 幹事 池末晋介 公共イマジン委員 金子福松、羽鳥 隆、下井田秀一 (歴史編集IT-CIC担当)

No. 2270

2023年2月24日発行

祝 第2400例会 (2023・2・19) 報告

第2分区A インターシティーミーティング(IM)開催

司会 桐生赤城RC 金井利夫君・林香君

- | | | | | |
|----------------------|---------------|-------|----------------|------------------------|
| 1. 点鐘 | 第2分区Aガバナー補佐 | 山崎倫義君 | 10. 基調講演 | 桐生自然観察の森 元所長
寺内優美子様 |
| 2. 国歌斉唱 | | | 11. 発表 テーマ『環境』 | |
| 3. ロータリーソング斉唱『奉仕の理想』 | | | 桐生南RC | 星野 尚香君 |
| 4. 来賓紹介 | 第2分区Aガバナー補佐 | 山崎倫義君 | 桐生RC | 飯塚 壮一君 |
| 5. 黙 禱 | | 林香君 | 桐生西RC | 今泉 攻一君 |
| 6. 開会の挨拶 | IM実行委員長 | 大川一成君 | 桐生赤城RC | 前原美代子君 |
| 7. 歓迎の言葉 | 桐生赤城RC会長 | 小林博子君 | 12. 講 評 | RI第2840地区ガバナー 中野正美君 |
| 8. 挨拶 | 第2分区Aガバナー補佐 | 山崎倫義君 | 13. 点 鐘 | 第2分区Aガバナー補佐 山崎倫義君 |
| 9. 挨拶 | RI第2840地区ガバナー | 中野正美君 | | |



第2分区AのIMが、2月19日(日)午前10時から、桐生地域地場産業センター(中3階)で開催されました。中野正美ガバナーをはじめ多くの来賓、各クラブからの参加に加え、新型コロナウイルス感染症対策としてYouTubeライブ配信を行いハイブリット型の開催となりました。今回は基調講演として、『環境』をテーマに、桐生自然観察の森 元所長の寺内優美子様から『環境の保全について』という題目でご講演いただき、その後、各クラブの代表者が15分間づつの発表を行いました。当クラブからは今泉攻一副幹事が、副題として『桐生西RCの環境への取り組み』及び『当社株式会社Achiemとしての取り組み』の2本立てにて発表を行いました。発表後、中野ガバナーから講評を頂き、IMを終りました。また、今年度も群馬県内の感染症状況を鑑みて、残念ながら歓迎会は行われませんでした。

新型コロナウイルス対策としてICTを活用したYouTubeライブ配信により、オンライン、オフラインの同時進行での開催となりました。

IM司会 桐生赤城RC

金井 利夫 君
林 香 君

桐生西ロータリークラブ



点鐘・来賓紹介・挨拶
山崎倫義ガバナー補佐



開会の挨拶
大川一成IM実行委員長



歓迎の言葉
桐生赤城RC小林博子会長



来賓挨拶・講評
中野正美ガバナー

基調講演



桐生自然観察の森
元所長 寺内優美子様
題目 『環境の保全について』
副題 「ふるさと桐生の自然を守り、次世代につなぐために」
環境という大きな題目のなかで、SDGsについて触れ、現在苦しんでいる人々がいるからこそ、目標

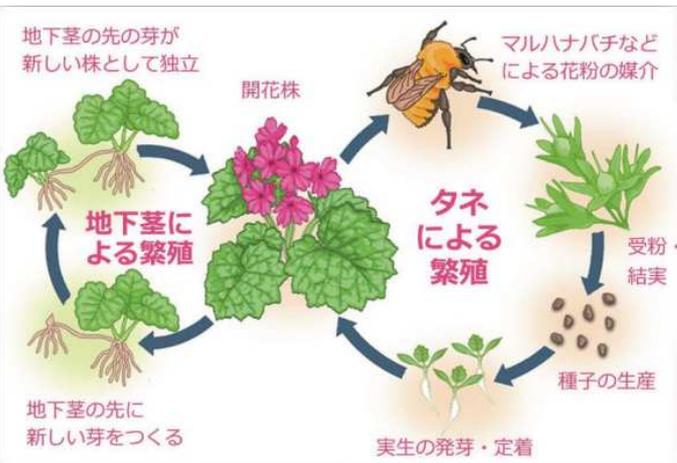
として掲げられていることを個人個人が意識していく必要があることを訴え会員の理解を深めていきました。

また、身近な問題として、桐生市・みどり市にまたがる鳴神山にしか生息しない「カッコソウ」の保全活動についての取り組みを紹介し、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性を理解し、全ての生き物には役割があり、鳴神山の生物の多様性を守っていくことが重要であり、意識啓発を行っていく必要があるとし、身の回りを見渡せる余裕をもって心豊かな生活を送れるよう心掛けていただきたいとし、締めくくりました。

カッコソウはサクラソウ科の多年生植物です。4月の下旬から5月の中旬に紅紫色のサクラソウによく似た美しい花を咲かせます。



- クローン繁殖
親株から地下茎を伸ばしてそこから新しい芽をだし個体を作る。
- 種子繁殖
別々の遺伝子を持つ親株の花粉のやり取りでできた種が発芽して個体を作る。
現在はクローン繁殖がほとんどで、タネによる繁殖ができていない群落はほとんどありません。



発表 テーマ 『環境』



桐生南RC 星野尚香君
「環境への取り組み」
星野管工株式会社で行われている取り組みを紹介。社内でのごみ廃棄の取り組みや、群馬大学と連携したアースデイ桐生、会社敷地内への植樹、緩速濾過のデータ収集の協力などを紹介していただきました。



桐生RC 飯塚壮一君
「わが社のSDGsの取へのり組み」
ハラスメントの禁止の社内規定、ライフスタイルに合わせた働き方改革など出来ることから勉強しながら進めている。また、少年野球やボッチャ協会への協賛など、できる範囲での協力を行っていること紹介していただきました。



桐生西RC 今泉攻一君
「桐生西RCの環境への取り組み」
「当社Achieamとしての取り組み」
月桂樹4世、桐生運動公園の清掃、桐生西RACの記念植樹、東桃花1万本プロジェクト、エコキャップ・切手回収事業・グローバル補助金事業について紹介、また、株式会社Achieamのペーパーレス化による波及効果や水耕栽培の取り組みについて紹介していただきました。



桐生赤城RC 前原美代子君
「赤城RCの取り組み」
「会社としての取り組み」
桐生赤城RCの清掃活動や地区補助金を活用した事業を紹介。また、会社としてごみ減量への取り組みや環境保全の啓発活動を行い、個人の意識を高めていくことが重要なことを紹介していただきました。

講評

RI第2840地区ガバナー 中野正美君
自然の森が近くにあることを知り、親近感を感じることができた。発表においても異業種の会員の知識を得ることができ感謝したい。個人個人が考えて、それを家族なり職場に伝えることが、大きな波となり、IMをやった意義につながると感じました。

《 次例会予告 》
3月3日(金) 12:30点鐘
卓話 米山奨学生 ダオ・スアン・トゥン君
例会終了後、定例理事会開催予定